

記号番号	業 種	設 立 年 月 日
大380	複合 サービス業	令和3年4月1日

公告第28号

令和5年度 事業報告書

ダイレクトマーケティングミックス健康保険組合

第1 事業概況

1. 一般勘定

【適用】

令和5年度平均の被保険者数は、男性1,270名、女性1,552名の合計2,822名となり、令和4年度決算の被保険者数3,223名に対し401名減となりました。

平均標準報酬月額は、年間平均額で男性296,190円、女性238,031円、平均264,680円となり、令和4年度決算の266,700円に対し、2,020円減。

【収支】

被保険者の減少にともない収入は10億円を下回り999,511千円となった。一方、支出は納付金が令和4年度の315,274千円より251,835千円に大幅減の855,405千円となったので、決算残金は144,106千円となった。準備金に40,370千円、財政調整事業繰越金に2千円を充て、残金103,734千円を繰越金として繰越す。設立3年目の令和5年度準備金保有率は153.12%と100%を超えることができた。

【収入】

保険料収入は令和4年度の1,029,280千円から905,534千円の123,746千円減となり、収入の合計は調整保険料収入11,929千円、令和3年度納付金の精算を含む補助金等追加収入76,965千円と高額医療交付金等々を合わせて999,511千円となった。

【支出】

保険給付費が令和4年度の557,164千円より増加し524,071千円と33,093千円減となりました。また、納付金も令和4年度の315,274千円から63,439千円減の251,835千円となり他の支出と合わせて855,405千円となった。

【保健事業】

疾病の早期発見に注力し、40歳以上の正社員に対して人間ドック、それ以外の35歳以上の社員に対して生活習慣病健診、30歳以上の女性に対して婦人科単独検診、40歳以上の任意継続者に対して特定健診の補助を実施した。令和5年度より

インフルエンザ予防接種費用の補助を一人年間 1,000 円から 3,000 円に増額して実施。また、ホームページを通じて広報活動に注力した。

2. 介護勘定

【適用】

令和 5 年度の介護保険第 2 号被保険者数年間平均は 841 名となり、令和 4 年度決算の介護保険第 2 号被保険者数年間平均 907 名より 66 名減となった。平均標準報酬月額、年間平均額で 280,038 円となり、令和 4 年度決算の 282,356 円に対し、2,318 円減となった。

【収支】

介護収入は 64,280 千円、支出は 63,064 千円で、収支差引額は 1,216 千円となった。残金は繰越金と準備金に積立てる見通しで、令和 5 年度の介護勘定における準備金保有率は 578.51%の見込。

【収入】

介護納付金 63.064 千円を納付するために、介護保険料は 58,039 千円と前年度繰越金 6,241 千円の 64,280 千円にて対応した。

【支出】

介護納付金は 63.064 千円で、第 2 号被保険者たる被保険者 1 人当たりの介護納付金は、79,828 円となり、令和 4 年度より 27,861 円増となった。

第2 庶務の概要

1. 事務所

所 在 地	概 要
大阪市北区南森町二丁目1番29号	令和3年4月1日設立

2. 組合会

開会年月日	議 決 又 は 報 告 事 項 の 件 名	議 決 又 は 報 告 事 項 の 概 要	議 員 の 出 欠 状 況		議 決 又 は 報 告 結 果	
			出席	欠席	可	否
令和5年						
4月20日	第6回組合会 議決事項 組合議員補欠選挙について 理事補欠選挙について	選定退任に伴う議員補欠選挙 理事退任に伴う理事補欠選挙	14 14	0 0	14 14	0 0
7月31日	第7回組合会 議決事項 令和4年度収入支出決算について 一般勘定 介護勘定 令和4年度の収入支出決算残金処分 について 令和4年度の事業報告について 報告事項 監事監査報告について 理事長専決について	保険給付費が予算より45,301千円減となり、保険料 収入も予算に対して61,517千円増となった。 結果、収入1,050百万円、支出963百万円となり、 収入支出差引額は87百万円となった。 収入61百万円、支出44百万円となり、 収入支出差引額は17百万円となった。 一般勘定は法定準備金と財政調整事業繰越金へ 介護勘定は法定準備金と繰越金へ 事業報告、財産目録を報告 監事監査（通知）報告 理事長専決を報告	14 14 14 14 14 14	0 0 0 0 0 0	14 14 14 14 14 14	0 0 0 0 0 0
令和6年						
2月29日	第8回組合会 議決事項 令和5年度決算見込と法定準備金について 一般勘定 介護勘定 令和6年度収入支出予算（案）について 一般勘定 介護勘定 報告事項 理事長専決について	収入1,005百万円、支出902百万円となり 収入支出差引額は103百万円となった。 収入64百万円、支出63百万円となり、 収入支出差引額は1百万円となった。 保険料率100%（調整保険料率含む）として、収入は 前年度繰越金、準備金繰入をして1,001百万円で立案。 納付金は305百万円、保険給付費は前期比108%の 593百万円を見込む。 保険料率21%を基礎として収入70百万円で立案。 支出は介護納付金56百万円と予備費14百万円とした。 理事長専決を報告	14 14 14 14	0 0 0 0	14 14 14 14	0 0 0 0
4月15日	第9回組合会 議決事項 第2回総選挙の実施について	互選議員選挙、選定議員選定	14	0	14	0

3. 議員及び理事

種 別	議 員			理 事			任 期
	定 員	現 員	欠 員	定 員	現 員	欠 員	
選 定	7人	7人	0人	3人	3人	0人	令和9年4月14日まで
互 選	7人	7人	0人	3人	3人	0人	令和9年4月14日まで
計	14人	14人	0人	6人	6人	0人	3年

第3 事業主・事業所・被保険者等の状況

健康保険		前年度末	本年度		本年度末	備 考
			増	減		
事業主数		4	0	0	4	
事業所数		4	0	0	4	
被保険者数	男	1,388人	493人	835人	1,046人	
	女	1,772人	612人	1,139人	1,245人	
	計	3,160人	1,105人	1,974人	2,291人	
被保扶養者数	男	253人	72人	131人	194人	
	女	349人	94人	164人	279人	
	計	602人	166人	295人	473人	
介護保険者第2号 被保険者数	男	365人	—	—	310人	
	女	575人	—	—	431人	
	計	940人	396人	595人	741人	
平均標準報酬月額	男	295,101円	—	—	302,830円	
	女	236,152円	—	—	242,653円	
	平均	262,442円	—	—	270,753円	
標準賞与額 (年間合計)	男	382,924円	—	—	394,443円	
	女	221,136円	—	—	183,903円	
	計	604,060円	—	—	578,346円	

第4 保険給付の概要

保険給付費は法定給付費と付加給付費に分類されますが、当健保では付加給付を実施していません。

令和5年度の保険給付費は、524,071千円で令和4年度より94.1%の減となっています。

被保険者1人当たり額は、185,709円となりました。令和5年度予算の保険給付費は712,472千円に対し73.6%となり、188,401千円の予算残。

法定給付費の内訳は、被保険者に対しては85.6%（令和4年度82.4%）、被扶養者に対しては13.7%（令和4年度16.1%）、高齢者は0.3%（令和4年度1.0%）、高額療養費は0.4%（令和4年度0.5%）となりました。それぞれ期初予算に対しては、被保険者が77.0%で133,867千円の予算残、被扶養者が61.3%で45,348千円の予算残でした。また、傷病手当金は、87,038千円で予算に対して58.9%の60,737千円の予算残となりました。

結果、令和5年度に要した保険給付費は、期初予算より減少し、保険料収入に占める割合も期初予算の62.4%から61.3%と微減となりました。

令和5年度 保険給付費予算対比

※1人当たり金額算出被保険者数 3,253人 2,822人

科 目		期初予算 (千円)	決算 (千円)	期初予算 対比 (%)	期初予算差 (千円)	期初予算 1人当たり (円)	決算 1人当たり (円)	1人当たり 予算対比 (%)
法定給付費	被保険者							
	療養給付費	361,785	304,859	84.3	56,926	111,216	108,029	97.1
	一部負担金減免額	1	0	0.0	1	0	0	0.0
	入院時食事・生活療養費	729	492	67.5	237	224	174	77.8
	療養費	12,434	8,326	67.0	4,108	3,822	2,950	77.2
	訪問看護療養費	383	58	15.1	325	118	21	-
	移送費	1	0	0.0	1	0	0	-
	傷病手当金	147,775	87,038	58.9	60,737	45,427	30,843	67.9
	埋葬諸費	100	100	100.0	0	31	35	-
	出産育児一時金	32,000	24,098	75.3	7,902	9,837	8,539	86.8
	出産手当金	27,204	23,574	86.7	3,630	8,363	8,354	99.9
	計	582,412	448,545	77.0	133,867	179,038	158,946	88.8
	被扶養者							
	家族療養費	104,299	67,918	65.1	36,381	32,062	24,067	75.1
	家族減免額	1	0	0.0	1	0	0	-
	家族訪問看護療養費	1	80	8,000.0	▲ 79	0	28	-
	第二家族療養費	1,388	875	63.0	513	427	310	72.7
	家族移送費	1	0	-	1	0	0	-
	家族埋葬料	1	50	5,000.0	▲ 49	0	18	-
	家族出産育児一時金	11,500	2,920	25.4	8,580	3,535	1,035	29.3
	計	117,191	71,843	61.3	45,348	36,026	25,458	70.7
	高齢者療養給付費	9,445	1,456	15.4	7,989	2,903	516	-
	高額療養費	3,422	2,228	65.1	1,194	1,052	790	75.1
	高額介護合算療養費	1	0	0.0	1	0	0	0.0
	高齢者減免額	1	0	0.0	1	0	0	-
	計	712,472	524,072	73.6	188,400	219,020	185,709	84.8
付加給付費	被保険者							
	一部負担還元金							
	合算高額介護療養費付加金							
	出産育児一時金付加金							
	計							
	被扶養者							
	家族療養費付加金							
	家族出産一時金付加金							
	計							
	計	0	0	-	0	0	0	-
合 計		712,472	524,072	73.6	188,400	219,020	185,709	84.8

第5 直営医療機関および指定医療機関

1. 直営医療機関 該 当 事 項 な し

2. 指定医療機関 該 当 事 項 な し

第2期 令和5年度データヘルス計画

STEP4-2 期末評価

事業全体の目的と目標の確認

事業全体の目的	生活習慣病関連の医療費の削減と予備軍の予防を目指す。
事業全体の目標	目的を達成するための新規保健事業の拡充を3年以内に整えたい。

健康課題ごとの振り返り

1	疾病別の医療費において1位の特殊目的コード（コロナウイルス感染症関連）に続いて「呼吸器系の疾患」「腎臓病」「循環器系の疾患」の順に高く、「腎臓病」の割合は他の健康よりも高い。
---	---

対策の達成度 (アウトプットの評価)	D	評価理由 (成功要因や阻害要因など)	事業形態(コールセンター、派遣等)により、コロナ関連・呼吸器系疾患の医療費が高くなっていることがわかった。 また、若年層の加入者が多いため、相対的に生活習慣病以外の医療費が高くなっていることがわかった。 これらを踏まえて対策の方向性を今後検討することとする。						
	D								
健康課題の解決度 (アウトカムの評価)									
番号	事業名	アウトプット指標達成度			アウトカム指標達成度				
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	特定健康診査	受診率	107.3%	110.6%	110.9%	設定なし	-	-	-
2	生活習慣病健診	受診率	98.9%	-	-	設定なし	-	-	-
		健診補助費用の伸び率	-	122.3%	-				
		特定健診受診率	-	-	110.9%				
3	人間ドック	受診率	102.5%	94.6%	-	設定なし	-	-	-
		特定健診受診率	-	-	110.9%				

2	生活習慣病ごとの医療費において「糖尿病」「腎不全」「虚血性心疾患」の順に高い。
---	---

対策の達成度 (アウトプットの評価)	B	(成功要因や阻害要因など)	要検査対象者の抽出を行い、事業主と共有することで早期対策を促した。						
	A								
健康課題の解決度 (アウトカムの評価)									
番号	事業名	アウトプット指標達成度			アウトカム指標達成度				
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	特定健康診査	受診率	107.3%	110.6%	110.9%	設定なし	-	-	-
2	生活習慣病健診	受診率	98.9%	-	-	設定なし	-	-	-
		健診補助費用の伸び率	-	122.3%	-	-	-	-	-
		特定健診受診率	-	-	110.9%	-	-	-	-
3	人間ドック	受診率	102.5%	94.6%	-	設定なし	-	-	-
		特定健診受診率	-	-	110.9%	-	-	-	-
4	要医療者への受診勧奨	受診率	-	111.8%	125.0%	設定なし	-	-	-

3	悪性新生物ごとの医療費・患者数において男性は「大腸がん」、女性は「乳がん」「子宮頸がん」の割合が多い。
---	---

対策の達成度 (アウトプットの評価)		A	評価理由 (成功要因や阻害要因など)	女性の婦人科系がん検診は30歳以上、大腸がん検診は35歳からと若年層からの対策を行うことができた。					
健康課題の解決度 (アウトカムの評価)		A							
番号	事業名	アウトプット指標達成度			アウトカム指標達成度				
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	人間ドック	受診率	102.5%	94.6%		設定なし	-	-	-
		特定健診受診率	-	-	110.9%				
2	婦人科健診	受診者数	62.0%	90.0%		設定なし	-	-	-
		子宮頸がん検診受診者数	-	-	96.0%				
		乳がん検診受診者数	-	-	112.0%				

4	メタボリックシンドロームの基準該当割合が男女ともに高い。
---	------------------------------

対策の達成度 (アウトプットの評価)	B	評価理由 (成功要因や阻害要因など)	特定保健指導の実施を外委託業者1社に委託していたが、実施率をモニタし、実施率の伸び悩みを解消するために、R5年度より、2社に委託することで、利用率向上を図るような施策を実施した。						
健康課題の解決度 (アウトカムの評価)	B								
番号	事業名	アウトプット指標達成度			アウトカム指標達成度				
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	特定保健指導	実施率	-	17.8%	42.5%	設定なし	-	-	-

5	喫煙率(40歳以上)が他健康と比べて男女ともに高い。 ※令和元年度 特定健診の「問診回答」に関する調査(健康保険組合連合会政策調査分析グループ)による「現在、たばこを習慣的に吸っている」者の割合 ※令和元年度の特定健診受診者 457万947人(514組合)の特定健診データ男性:34.7% 女性:12.6%
---	---

対策の達成度 (アウトプットの評価)	D	評価理由 (成功要因や阻害要因など)	加入者が流動的で個別の施策の実施が難しく、広報活動にとどまった。						
健康課題の解決度 (アウトカムの評価)	D								
番号	事業名	アウトプット指標達成度				アウトカム指標達成度			
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度

6	疾病別の医療費において特殊目的コード（コロナウイルス感染症関連）が一番多い。
---	--

対策の達成度 (アウトプットの評価)	D	評価理由 (成功要因や阻害要因など)	事業形態(コールセンター、派遣等)により、コロナ関連の医療費が高くなっていることがわかった。 インフルエンザ予防接種補助額をR5年度より3,000円に増額し、コロナの予防接種にも使えるように制度を整備したが、実際は政府補助が継続したため、利用はなかった。						
健康課題の解決度 (アウトカムの評価)	D								
番号	事業名	アウトプット指標達成度				アウトカム指標達成度			
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度

健康課題と紐付いていない事業一覧

該当なし（これまでの経緯で実施する事業）

番号	事業名	アウトプット指標達成度			アウトカム指標達成度				
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	ジェネリック医薬品促進事業	情報発信率	100.0%	-	-	利用率	101.9%	-	-
		ジェネリック医薬品の使用割合	-	111.0%	105.6%				
2	インフルエンザ等予防接種	接種人数	52.0%	42.0%	268.0%	設定なし	-	-	-

該当なし									
番号	事業名	アウトプット指標達成度			アウトカム指標達成度				
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	健康管理委員会	実施回数(年)	-	-	200.0%	設定なし	-	-	-
2	健康管理のICTツールの提供、健保ホームページの運用	閲覧回数	147.9%	130.0%	-	登録率	82.0%	-	-
		対象者への告知率	-	-	100.0%				

第2期のデータヘルス計画への取り組みに対する振り返り

No	設問	回答					評価理由（成功要因や阻害要因など）
		全くできなかった		よくできた			
1	STEP1-3基本分析において、自組合集団としての健康状態を客観的に可視化できたか？	☐	☐	☐	☐	☒	健保連の医療費データを利用して、毎月分析して、事業主と共有している。
2	STEP2健康課題の抽出において、適切に健康課題を抽出することができたか？	☐	☐	☐	☐	☒	一年に一度外部委託業者による全体分析を行っている。 課題を抽出することで、課題認識ができた。
3	STEP2健康課題の抽出において、優先すべき健康課題や対策の方向性を的確に定めることができたか？	☐	☐	☐	☒	☐	方向性を定めることはできたが、予算上の課題があった。
4	STEP3 保健事業の実施計画において、事業全体の目的や目標を適切に掲げることができたか？	☐	☐	☐	☐	☒	R5年度から実績を踏まえて保健事業の見直しを実施できた。
5	STEP3 保健事業の実施計画において、「保健事業の基盤」に関わる保健事業を適切に立案することができたか？	☐	☐	☐	☒	☐	適切に立案することはできた。
6	STEP3 保健事業の実施計画において、「個別の事業」に関わる保健事業を適切に立案することができたか？	☐	☐	☐	☐	☒	適切に立案し、随時見直しを行うことができた。
7	STEP3 保健事業の実施計画において、保健事業の評価指標を適切に設定することができたか？	☐	☐	☒	☐	☐	適切な評価指標については継続して見直す。
8	STEP4-1 事業報告において、年次の事業進捗やアウトプット、アウトカムを評価することができたか？	☐	☐	☐	☐	☒	評価したうえで、次年度の保健事業の策定に役立てることができた。
9	STEP4-1 事業報告を理事会や組合会での報告に活用し、次年度の事業計画に活用することができたか？	☐	☐	☐	☐	☒	事業主へ定期的な共有を行い、活用することができた。
10	保健事業を実施するにあたって事業主とのコラボヘルスの体制をどの程度構築することができたか？	☐	☐	☐	☐	☒	月次の共有などでコラボヘルスの体制を構築できた。今後は具体施策を検討していく。
11	加入者のヘルスリテラシー向上に向けた取り組みを行うことができたか？	☐	☐	☐	☐	☒	ポピュレーションアプローチツールやHPを活用して、健保からの情報発信を行うことができた。

第 6 保 健 事 業

単位：人、千円

種 別 科 目	種 目	令和5年度			事業内容の概要等
		予算人数	予算金額	実績	
1. 特定健康診査事業費	1. 特定健康診査	15	137	0	40歳以上の特定健診受診対象となる被扶養者のみ分のみを計上。
	1. 動機付け支援	30	600	286	40歳以上の特定保健指導対象となる被保険者及び被扶養者について実施。特定健康診査等実
2. 特定保健指導事業費	2. 積極的支援	70	2,310		加入者に対して、健康保険制度の理解と組合の状況の周知及び健康管理に関する理解を深めるために、健康保険制度、保健事業案内や、告知、各種申請書がワンストップを可能にし、健診予約、健診結果管理システムへのアクセスを構築。年間運営費
	1. ホームページ費用		660		KENPOS 各種健康診断に関する基本契約による被保険者・被扶養者に対して、医療費通知、健康改善情報の提供や健康改善プログラム。加入者の健康意識の増進を図る。
3. 保健指導宣伝費	2. 健診手配代行サービス料		7,260	7,326	データヘルス計画に伴う、策定、評価、分析などをを行う。専門医師による監修。
	3. 健康サポートプログラム利用料		1,056		保健事業の中長期にわたる企画立案、実施計画の策定、実施結果の分析、評価を行う。
	4. データヘルス計画		3,000		健保連保健・広報分担金。
	5. 健康管理事業推進委員会		800		35歳未満の被保険者を対象として、疾病の早期発見・早期治療を図るため定期健康診断を実施。（令和5年度未実施）
	6. 共同保健指導宣伝費		192		35歳以上の被保険者を対象として、疾病の早期発見・早期治療を図るため生活習慣病予防健康診断を実施。
	1. 定期健康診断 被保険者	0	0		40歳以上の被保険者を対象として、疾病の早期発見・早期治療を図るため人間ドックを実施。
4. 疾病予防費	2. 生活習慣病予防健康診断	1,205	21,690		30歳以上の女性被保険者を対象として、疾病の早期発見・早期治療を図るため婦人科検診。
	3. 人間ドック 被保険者 (40歳以上正社員)	133	2,634	15,294	インフルエンザ等の予防として、接種補助を実施。
	4～9. 婦人科健診 (子宮頸がん、乳がん)		2,434		福利厚生の実施（健康相談、その他宿泊、映画補助含む）と健康維持増進を図る。令和4年度期中に休止。
	10. 予防接種補助	3,040	9,120		健康啓発のための広報資料や仕組み作り
	11. 宿泊補助、体育奨励	0	0		健診案内、受診券発行依頼作成費用含む
	12. 健康啓発他		1,107		
合 計			53,000	22,906	

第7 決算残金処分

1. 一般勘定

決 算 状 況		決 算 残 金 処 分 内 訳	
収入決算額	999,511,499円	準 備 金	40,370,839円
支出決算額	855,404,656円	別 途 積 立 金	0円
		繰 越 金	103,734,000円
		財政調整事業繰越金	2,004円
差引残額	144,106,843円	計	144,106,843円

2. 介護勘定

決 算 状 況		決 算 残 金 処 分 内 訳	
収入決算額	64,280,006円	準 備 金	0円
支出決算額	63,064,107円	繰 越 金	1,215,899円
差引残額	1,215,899円	計	1,215,899円

第8 財 産 の 移 動 状 況

1. 一 般 勘 定

単位：円

	前年度末 残高	当年度		当年度末 残高
		増加額	減少額	
準 備 金	109,766,064	45,750,839		155,516,903
別途積立金	0	0	0	0
土 地	0	0	0	0
建 物	0	0	0	0
機械及器具	0	0	0	0
そ の 他 (組込型耐火金庫)	109,890	0	6,105	103,785
計	109,875,954	45,750,839	6,105	155,620,688

2. 介 護 勘 定

単位：円

	前年度末 残高	当年度		当年度末 残高
		増加額	減少額	
準 備 金	23,218,684	0	0	23,218,684
計	23,218,684	0	0	23,218,684

第9 組 合 債

該 当 な し

第10 そ の 他 重 要 な 事

該 当 事 項 な し

以上のとおり報告する。

ダイレクトマーケティングミックス健康保険組合
理事長 田中 良晃

財 産 目 録

1. 一般勘定

令和5年3月末現在

種 別	数 量	金 額	備 考
準 備 金	預 金	1	150,136,903 円 三井住友銀行 梅田支店
	基金委託金	1	5,380,000 円 委託金残高証明書による
	計		155,516,903 円
退 職 積 立 金	預 金		0 円
	厚生資金		0 円
	計		0 円
その他の財産	土 地		0 円
	建 物		0 円
	備品その他	1	103,785 円
	計		103,785 円
合 計			155,620,688 円

2. 介護勘定

種 別	数 量	金 額	備 考
準 備 金	預 金	1	23,218,684 円 三井住友銀行 梅田支店
	計		23,218,684 円
合 計			23,218,684 円